



科目選択:自分の未来にも目を向けよう

緊急事態宣言の中、14日、無事に科目選択説明会を体育館で行うことができました。日程や科目選択の手順、申請書の書き方に多くの時間を費やしてしまい、みなさんに「科目選択」に関する思いをお伝えする機会を逸しましたので、通信を発行します。

結論から言うと、『科目を選択する』ことは大変なことだけど、「自分の未来を思い描くよい機会」と前向きに捉え、自分と真剣に向き合い、自分の未来を考えてほしい。』です。

今、自分の目標とする進学先や、将来に対する明確な展望を持っている人も、今、自分のしたいことがわからず、「将来?…とりあえずは大学進学かな。」と答えてしまう人も、この機会に自分としっかり対話してみませんか。

イメージしてみましょう。あなたは10年後どんな生活を送っていますか? 20代半ばになっているあなたは、働いていますか? 日本にいますか? 家族がいたりしますか?

以前担任した学年の生徒さんのことをお話したいと思います。彼らは66期生。鳳高校に入学した時から10年が経過し、現在25、26歳です。多くの方が働いています。私が把握しているだけでも、学生時代に海外に留学や旅に出た人は結構います。今も、海外在住の人もいます。婚約者がいたり、結婚し、子どもさんがいる人もいます。

中でも、先日訪問を受けた卒業生の話を聴いて驚きました。在学中の成績は特に“優秀”というわけではなかったのですが、昔から何事にも誠実に、熱心に取り組む人でした。韓国に以前から強い関心があったので韓国語はもちろん、大学在学中、今後を見据えて英語圏を選ばず中国に留学し、今、中国語もペラペラの Multilingual になっていました。現在は、東京で職に就いていますが、“日本だけでなく世界で働ける環境を整えたい。”と、「今、転職も視野に入れて、数学を勉強しています。得意ではないですが、自分の目指す分野でも、時代を見ても必要だと思うので。高校の時、数学を勉強していてよかったです。」と話してくれました。

「自分の未来を見据えて目標を設定し、行動を起こす姿勢を身に着けておくことはとても大事な! ああ、私も学生の頃、もっと自分の進路を真剣に考えておけば良かった!」と、彼女と話して強く思いました。



科目選択の話に戻りますが、少し先の未来だけでなく、中期的、長期的な未来にも目を向けながら、科目を選択してみませんか。ぜひ、たくさん自分に問いかけてみてください。

学びたい分野がはっきりしている人は、自然と自分の未来像が広がっていきますか。

例えば、「身近な人がその分野で活躍しているから、自分もその分野に進もう。」とは考えないようにしてほしいです。最終的にその分野に進路を決めていくとしても、自分の適性や関心の有無をしっかりと見極めてほしいです。あなたの知らない世界にも、この機会にあれこれ目を向けてみてください。その結果、「やっぱりこれだな！」としてほしいです。

学びたい分野がはっきりしていない人も、自分が好きなこと、関心のあることを切り口にあれこれ模索してみましょう。自分の好きなことを繋げていく中で、学びたいことが見つかるかもしれません。また、憧れる大学、入学したらやってみたいこと、それが叶う場所を見つけてから、そこで学べることを探し出すのもありますよ。

(ガイダンスブック p. 50-52 参照)

「イメージしていないことを実現していくことは難しい。」のではないのでしょうか。少し先の未来、10年後、数十年後の自分をイメージし、そこに何があると楽しいか、喜びを感じるか、是非、想像してみてください。あれこれ思い描いてください。

そして、イメージがつかめたら、そこから逆算して、「では、今何が必要か。」
「そのためにどう行動する必要があるか。」を考え、行動に移りましょう。



科目選択申請書（下書き）とガイダンス希望票の締め切りは5月27日です。先日も、『ギリギリにバタバタせず、余裕をもって事に当たろう』とお話がありました。今から意識づけて、余裕をもった行動ができるようにしていきましょう。



< お知らせ >



- ・本日（25日）から16名の卒業生が、2/3週間、教育実習に来ています。年齢の近い先輩と交流する大変良い機会です。大学のことや進路のこと、いろいろ尋ねてみましょう。



- ・野外活動について のプリントを配布します。
「野外活動（修学旅行）参加承諾書」の提出締め切りは 5月31日（月）です。